

原子力だより

The Niigata Prefecture Nuclear Power Newsletter

Vol.
166
(R8.3)



春をうつす（上越市中郷区松ヶ峰）
春を訪れを告げる桜と冬の名残の雪山が水面に映える

写真：公益社団法人 新潟県観光協会

CONTENTS

TOPICS (注目情報や主な出来事) p.2

- 柏崎刈羽原子力発電所6、7号炉の再稼働に向けた政府方針への理解要請に了解しました。
- 柏崎刈羽原子力発電所6号機の再稼働に合わせて、監視を強化しました。
- 避難路の整備内容及び進捗状況をホームページでご覧になれます。
- 柏崎刈羽原子力発電所で最近発生したトラブル等について
- 3月25日から新潟県避難所アプリの運用がスタートします。
- 柏崎刈羽原子力発電所の安全対策・防災対策のリーフレットをお配りします。

環境放射線監視調査結果等 p.6

- 環境放射線監視調査結果速報（令和7年10月～12月）

その他 p.8

- 柏崎原子力広報センターからのお知らせ

柏崎刈羽原子力発電所6、7号炉の再稼働に向けた政府方針への理解要請に了解しました。

県は、令和6年3月21日の経済産業大臣からの柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉の再稼働の方針への理解要請について、原子力発電の必要性和安全性に関する県民の理解促進のための取組等7項目の国の対応を確認した上で、令和7年12月23日に了解しました。

また、東京電力には、柏崎刈羽原子力発電所の運営について安全最優先の取組を行動と実績で示すよう求めました。

	県が示した7項目の概要	国の回答要旨
①	原子力発電の必要性和安全性についての理解促進	東京電力とも連携しつつ、県民の理解が進むよう、わかりやすく丁寧な情報発信に粘り強く取り組む。
②	原子力発電所の安全性の向上への不断の取組	国から東京電力に対し、最新の知見の活用なども通じて、自律的かつ継続的に改善に努め、安全性向上に不断に取り組むよう、しっかりと指導する。
③	緊急時の対応についての理解促進、民間事業者と実動組織との連携	関係省庁等が連携して、引き続き丁寧な説明など地域住民への周知・理解促進と原子力防災体制の継続的な充実・強化に取り組む。
④	避難路の整備促進、除排雪体制の強化、屋内退避施設の集中整備の促進に向けた取組	避難路の整備促進や除排雪体制の強化等に向けて、できる限り速やかに整備を推進する。屋内退避施設は、当面5年で50箇所程度を目途に、集中的に整備を進める。
⑤	原子力に係る諸課題への取組	今後とも、原子力に係る諸課題（テロ、武力攻撃への対応、核燃料サイクルの確立、高レベル放射性廃棄物最終処分、万一の事故への対処、原子力損害賠償）に対し、国が責任をもって取り組み、丁寧に説明する。
⑥	東京電力の信頼性の確保に向けた取組	政府に設置した監視強化チームにおいて、東京電力による発電所の安定的な運営に資する取組の進捗状況について、監視を強化するよう、取り組む。
⑦	電源三法交付金の見直しの検討	課題解決に必要な財源確保に向けた方策の検討・具体化を含め、地域の持続的な発展に向けた取組を進めていくこととしており、今後、検討を速やかに進める。

再稼働問題についての情報を県のホームページにまとめています。

国からの回答文書などもこちらから確認できます。

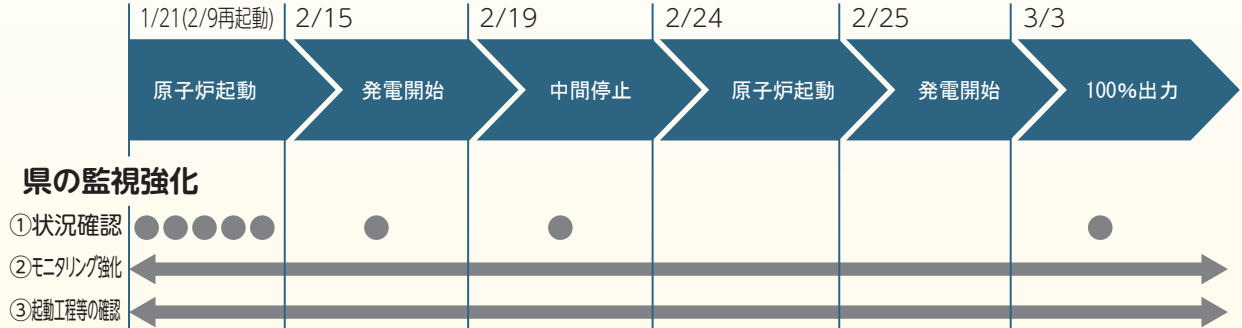
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/saikadoumonndai.html>



柏崎刈羽原子力発電所6号機の再稼働に合わせて、監視を強化しました。

令和8年1月21日、東京電力は柏崎刈羽原子力発電所6号機を再稼働しました。県では原子炉起動に合わせ、同発電所の監視を強化しました。

●6号機の起動工程と県の監視強化



●監視強化の内容

①発電所の状況確認

県・柏崎市・刈羽村の職員に技術委員会や評価会議*の専門家も加えた監視チームにより、発電所の状況確認を8回実施しました。
*新潟県原子力発電所周辺環境評価会議

〈確認内容の例〉

1月22日に発生した制御棒引抜き操作時の電動機制御盤における警報発生事案

〈専門家のコメント(抜粋)〉

- ・東京電力が、徹底的に原因等を調査したこと、警報の設定変更は安全性に影響がないことを確認した。
- ・一旦、立ち止まり対策に集中したことは評価できる。原因究明を行い、万全の対策をしてもらいたい。

②環境放射線モニタリングの強化

- ・可搬型モニタリングポストを2台追加設置し、放射線量を連続測定しました。(1月19日～、荒浜コミュニティセンター・大湊局*)
- ・モニタリング車により発電所周辺の走行測定を実施しました。(起動工程の節目で実施)
*積算線量測定用のモニタリングポイント



可搬型モニタリングポスト



モニタリング車

③起動工程の実績やプラント情報の確認

東京電力から起動工程や原子炉出力、放射能データ等のプラント情報の報告を受け確認しました。

監視強化の取組状況はこちらから確認できます。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bosai/r7kk6startuptest.html>



避難路の整備内容及び進捗状況をホームページでご覧になれます。

県では、自然災害に対する既設道路の通行の信頼性を更に向上させ、原子力災害時の住民避難を円滑にするため、道路改良や橋梁の耐震補強などの避難路の整備に取り組んでいます。

この度、整備内容及び進捗状況を取りまとめたホームページを開設しましたので、ぜひご覧ください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/dourokensetsu/gennsiryokuhinannseibi.html>



〈全体図〉



〈県のホームページ〉



柏崎刈羽原子力発電所で最近発生したトラブル等について

●制御棒引抜防止機能に関する設定誤りによる「運転上の制限」の逸脱(令和8年1月17日発生)

1月17日、東京電力は6号機の制御棒引き抜き試験中、引き抜き防止機能が正常に機能しないことを確認したため、「運転上の制限」※からの逸脱を宣言しました。その上で全ての制御棒を全挿入し、駆動装置の電源を切断して引き抜き操作ができないようにしました。

その後の調査で、引き抜き防止機能の設定に誤りがあることを確認したことから設定を見直すとともに、当該機能が正常に動作することを確認し、1月18日に「運転上の制限」の逸脱からの復帰を宣言しました。

※保安規定で定めた機器の数や動作条件等の制限。これを満足しない状態が発生すると、事業者は「運転上の制限」からの逸脱を宣言し、必要な措置を講じることとしている。

●核物質防護秘密を含む文書の持ち出等(令和8年2月25日原子力規制委員会判断)

令和2～7年にかけて、東京電力社員1名が核物質防護秘密を含む文書等を必要な手続を取らずに保管場所から持ち出した上で複製し、社内の鍵のかかる個人の机に保管する行為や、文書をスキャンして社内の共用フォルダ等に保存していました。

なお、文書等の紛失や社外への漏えいは確認されていないとのことでした。

原子力規制委員会は、2月25日、本件を重要度「白」(下から2番目)と評価し、3月4日、原子力規制庁による追加検査を行うこととしました。

3月25日から 新潟県避難所アプリの運用がスタートします。

ぜひダウンロードして、情報登録をお願いします。

●新潟県避難所アプリとは

あらかじめご自身やご家族の情報をアプリに登録しておくことで、避難所の受付をスムーズに行うことができます。
また、車中泊など避難所以外に避難した場合でも、自治体の支援情報を受け取ることができます。
原子力災害時も受付の際に利用できます。



ダウンロードは
こちらから

iOS



Android



●新潟県が提供しているアプリサービスはこちらから

新潟県避難所アプリや、新潟県防災ナビアプリなど、県が提供しているアプリの一覧はこちらから確認できます。



<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/sns/apuri.html>
この機会に、新潟県が提供する色々なアプリをご確認ください。

新潟県防災ナビは
こちらから

iOS



Android



〈新潟県避難所アプリ画面イメージ〉



柏崎刈羽原子力発電所の安全対策・防災対策のリーフレットをお配りします。

県は、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策及び防災対策を分かりやすくまとめたリーフレットを作成しました。

3月末から、県内の各家庭にお配りする予定です。

柏崎刈羽原発の安全対策
はどうなっているの？



どんな防災対策を
やっているの？

福島第一原発の事故は
なんで起きたのかな？

リーフレットは県ホームページでもご覧になれます。
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/anzen-bosai-leaflet>



環境放射線監視調査結果速報 (令和7年10月~12月)

新潟県では、安全協定に基づき、柏崎刈羽原子力発電所周辺で空気中の放射線の量や野菜・水などの環境試料に含まれる放射能を調査しています。調査結果は以下のとおりです。

1 空間放射線

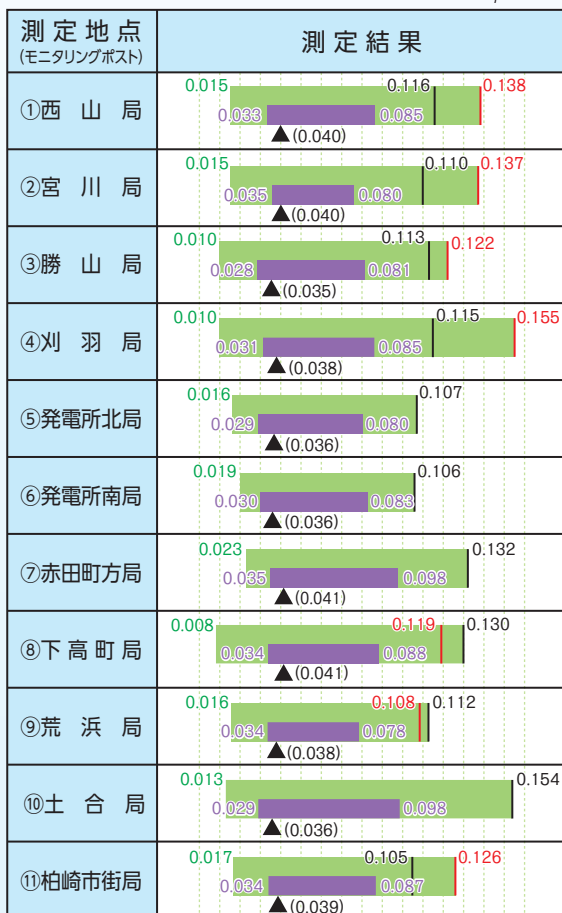
※ここでは、測定値を「1Sv=1Gy」で換算して表示しています。

①空間放射線量率

結果：対照期間の測定値の範囲内でした。

モニタリングポスト（11局）で空気中の放射線の量を連続測定しています。

(単位：μSv/時)



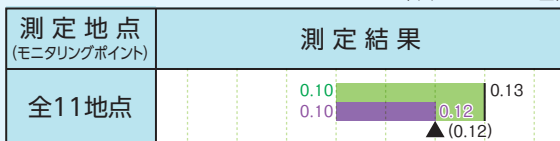
・県内の通常の変動の範囲：0.016~0.16 μSv/時
⑤発電所北局、⑥発電所南局、⑦赤田町方局、⑩土合局は、事前調査期間に測定を開始していないため、赤線の表示はありません。

②積算線量

結果：対照期間の測定値の範囲内でした。

空気中の放射線が3か月でどれくらいの量になるかを発電所周辺地域内のモニタリングポストとは別の11地点で測定しています。

(単位：mSv/91日)



※事前調査期間の測定値の最大値は0.13であり、直近の測定値の最大値と同一であるため、赤線の表示はしていません。

2 環境試料中の放射能

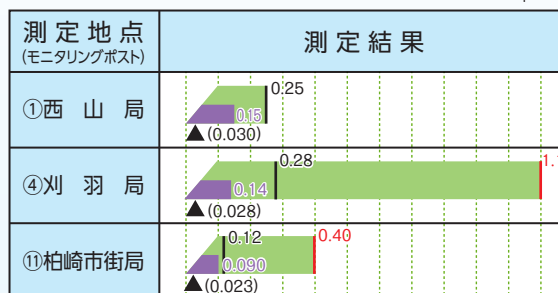
①全ベータ放射能測定

結果：対照期間の測定値の範囲内でした。

試料中の放射性物質が放出するベータ線を測定し、おおよその放射能レベルを求めています。

浮遊じん(※)

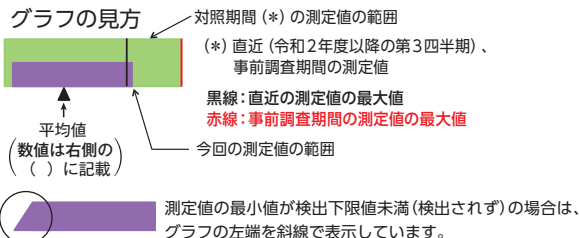
(単位：Bq/m³)



(※)「浮遊じん」とは空気中のほこりです。これを6時間収集し、5時間後に測定しています。5時間後に測定するのは、自然放射能(ラドン崩壊生成物によるもの)の影響を少なくするためです。

①西山局は、事前調査期間に測定を開始していないため、赤線の表示はありません。

グラフの見方



②核種分析 (セシウム137、トリチウムなどの放射性物質の種類(核種)毎に放射能を測定)

結果：下記のとおりです。

調査核種	試料名	測定結果	単位
放射性セシウム 放射性ヨウ素 など [調査試料名] ・〈浮遊じん〉 ・〈降下物〉 ・〈陸水：飲料水、原水、河川水〉 ・陸土 ・米 ・〈キャベツ〉 ・〈大根：葉部、根部〉 ・〈牛乳〉 ・松葉 ・海水 ・〈海底土〉 ・ヒラメ	陸土	セシウム137 1.3 14 18 120	Bq/kg乾
	米	0.021 0.052 0.18	Bq/kg生
	松葉	0.066 0.062 4.4	Bq/kg生
	海水	0.0024 0.0017 0.0074	Bq/L
	ヒラメ	0.070 0.10 0.10 0.30	Bq/kg生
ストロンチウム90 [調査試料名] ・飲料水 ・米 ・キャベツ ・大根：根部 ・畜産物：牛乳 ・ホンダワラ類	飲料水	ストロンチウム90 0.00065 0.00083 0.0013 事前調査期間に測定を行っていないため、赤線の表示はありません	Bq/L
	米	0.011 0.012 0.052	Bq/kg生
	キャベツ	0.011 0.0099 0.063 0.11 事前調査期間に測定を行っていないため、赤線の表示はありません	Bq/kg生
	大根(根部)	0.012 0.063 0.028 0.053 6.7	Bq/kg生
	牛乳	0.023 0.0093 0.67	Bq/L
	ホンダワラ類	0.020 0.040 0.036 0.037 0.59	Bq/kg生
トリチウム [調査試料名] ・大気：監視地域 ・〈大気：対照地域〉 ・〈陸水：飲料水、原水、河川水〉 ・〈海水〉	大気	トリチウム(監視地域) 0.0057 0.015 事前調査期間に測定を行っていないため、赤線の表示はありません	Bq/m ³
プルトニウム [調査試料名] ・海底土	海底土	プルトニウム239+240 0.076 0.088 0.11 0.16 0.18	Bq/kg乾

・〈青字〉の調査試料から、人工放射性核種は検出されませんでした。

放射能の量

Bq
[ベクレル]

物質が放射線を放出する能力。1秒間に1個の原子核が崩壊するときは1Bqの放射能といえます。天然放射性物質のカリウム40は、成人男性(体重60kg)の体内に約4,000Bqあります。

m[ミリ]=1,000分の1 μ[マイクロ]=100万分の1

放射性物質

放射能の量 [Bq:ベクレル]

放射線を受ける物質に吸収される量 [Gy:グレイ]

人体への影響 [Sv:シーベルト]

放射線の量

Gy
[グレイ]

放射線が空気などの物質に吸収される量をエネルギーで表す単位です。

Sv
[シーベルト]

人間が放射線を浴びたとき、どのくらい影響を受けるかを表す単位です。人間は普通に生活していても自然界から1年間で約2.1ミリシーベルト(日本平均)の放射線を受けています。なお、1Sv=1Gyで換算することができます。

過去の監視調査結果や県内のモニタリングポストの測定値は、下記のホームページをご覧ください。

【モニタリングポストの測定値】新潟県環境放射線監視測定データ公開サイト
<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp>

【過去の監視調査結果】放射線監視センター
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/houshasen/>

お問い合わせ先：県原子力安全対策課放射線監視係 TEL.025-282-1697

柏崎原子力広報センターからのお知らせ

原子力に関する講座や研修等を開催しています。

■原子力出前講座（対象：県内の一般住民）

「放射線の基礎」や「原子力防災の基礎」について、町内会などに伺い、分かりやすい講座を開催します。講座については、ご希望の会場で開催します。また、柏崎原子力広報センター内の研修室も利用可能です。

■放射線教室（対象：小学生・中学生）

新潟県教育委員会作成の「放射線等に関する副読本の活用の手引き」に沿って、実験器材などを用いて放射線の性質やエネルギー利用についての学習をお手伝いする教室を開催します。

■放射線教育研修会（対象：県内の小中学校教師）

教育現場で役立つ放射線やその平和利用についての知識を深めるための研修を開催します。

他の研修やイベントの開催もしています。開催を希望される団体は、柏崎原子力広報センターまでご連絡ください。

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会を傍聴できます。

◆◆◆ 今後の定例会の開催予定 ◆◆◆

開催日	時間	場所
4月 8日(水)	18:30～	広報センター研修室
5月13日(水)	18:30～	広報センター研修室
6月 3日(水)	18:30～	広報センター研修室

※ホームページはこちらから

新潟県 地域の会



定例会の開催予定等は必ずお問い合わせください。

〈上記事業や施設利用に関するお問い合わせはこちら〉

公益財団法人 柏崎原子力広報センター

新潟県、柏崎市、刈羽村、出雲崎町から受託して様々な事業を行っています。

住所 柏崎市荒浜1丁目3番32号

TEL 0257-22-1896

FAX 0257-32-3228

時間 9:00～16:30 休館日 月曜日・年末年始

E-mail info@atomuseum.jp

HP https://www.atomuseum.jp

※ホームページはこちらから

ATOMIUM



ATOMIUM
アトミュージアム

家族みんなで
遊びに来てね！

展示物、ライブラ
リーもあるよ！

お気軽にお越しください

〈本誌に関するお問い合わせはこちら〉



制作・発行

新潟県防災局
原子力安全対策課
令和7年度 広報・調査等交付金事業

住所 〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1

E-mail ngt130030@pref.niigata.lg.jp

TEL 025-282-1696

FAX 025-285-2975

HP https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/

TOPICS (注目情報や主な出来事)

環境放射線監視調査結果等

その他